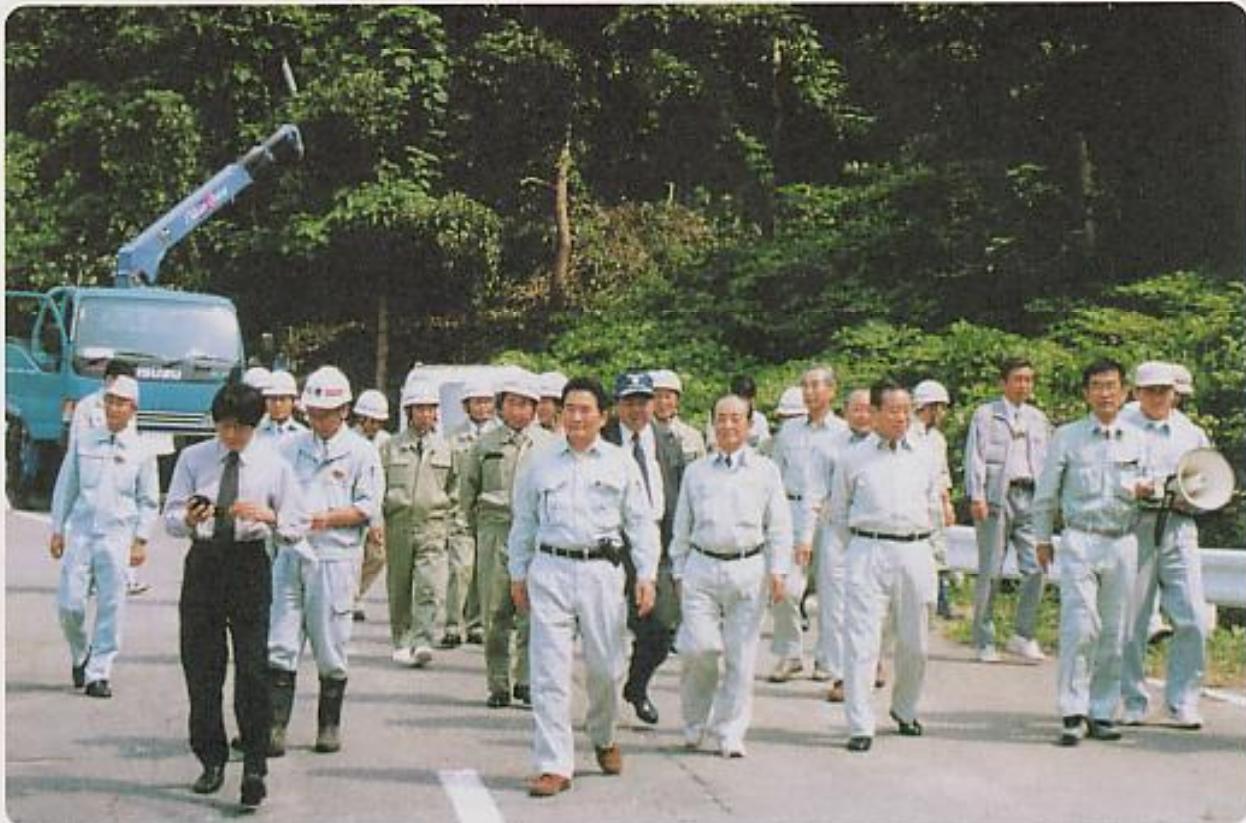


No. 119

# さい議会だより



国道338号災害現場視察

## 9月定例会

「ほくと」絶対必要…2 ページ

仮設道路の早期復旧を… 4 ページ

一般質問に5人登壇…10 ページ

# 「ほくと」絶対必要



「ほくと」廃止は当村にとって大きなダメージ

九月定例会は六日に開会され、十二日に閉会しました。

今定例会では平成十三年度各会計決算認定ほか十七件が提出され、特別委員会で審議し、九月十一日の総括審査で全て認定、可決しました。

また、本会議最終日には廃止が取りざたされている青森（→脇野沢）→佐井航路「ほくと」の存続を求めるため、青森県知事に意見書を提出することを決定しました。

（関連記事：4ページ）

## 国道338号 早期全面復旧望む

県選出国会議員に要望書提出

佐井村議会は平成十四年十月九日、去る八月十一日大雨による被害を受けた国道338号磯谷（→長後間）の早期全面復旧について、青森県選出の国会議員に対して要望書を提出しました。本区間は九月二十七日に仮復旧し、片側通行となっていますが、災害現場周辺一帯が地滑りの恐れのある区域であり、本格的な復旧には相当な年月が掛かる見込みです。



三村申吾代議士に要望書を提出

# ナイター議会を開催



初めて開催されたナイター議会

開かれた議会の取り組みの一環として、一人でも多くの方に傍聴してもらうため、九月十日、初めてのナイター議会を行いました。

この日、四十二名が傍聴。一般質問には五人が立ち、決壍している国道338号の復旧、不況対策、観光振興、漁業振興、誘致企業などについて村長の姿勢をただしました。

九月定期会初日、代表監査委員から、「各会計の決算状況に誤りはなかった。村税及び国保税とも収納率が前年度より低下しており、長引く景気の低迷や国保税の引き上げなど、今後ますます厳しい状況が予想されるため、府内一体となつた徵収体制づくりの検討を要望する」と、平成十三年度決算審査報告がありました。



決算審査報告をする奥本代表監査委員

決算認定

徴収体制の強化を

予算・決算・条例等審査特別委員会を設置し、今定期会に提案されている決算、補正予算、条例など、すべて認定可決しました。

# ほくと存続望む

**坂井議員**  
下北汽船の「ほくと」の廃止が報道され、村民は突然のことだけに不安が広がっている。既に報道されて二ヶ月が経つた現段階で、「ほくと」存続の可能性はあるのか。

## 存続に努める

下北汽船の「ほくと」の廃止が報道され、村民は突然のことだけに不安が広がっている。既に報道されて二ヶ月が経つた現段階で、「ほくと」存続の可能性はあるのか。

県では累財政の厳しい状況から、2航路を存続させるのは大変なので「ほくと」を休ませたいということが本音のようである。

先般、災害現場視察に知事が来村した際にも、「ほくと」の存続を強く要請している。

生活航路としても「ほくと」は重要な交通手段なので、存続に努めている。



佐井～青森間を2時間20分で結ぶ「ほくと」

## 田中正行議員

国道338号の災害復旧

は、土木事務所の説明によれば、既に本工事に取り掛かっていなければならぬはずである。

八月十一日以来今日まで、不安いっぱいの地域住民の心境を察し、仮設道路だけは一日も早く復旧できるよう関係機関に強く訴えるべきである。

## 村長

迂回路含め  
県に要望

仮橋の入札は終わっていないが、作業工法で国、県の詰めがうまくいっていないと聞いている。地域の不便さも十分理解し、迂回路も含めて県に要望している。



青森県知事が災害現場を視察

# 仮設道路の早期復旧を

# 木材価格のアップを

部分林がもうすぐ伐期

大畠議員

終戦後、佐井村部分林組合で営林署と契約した部分林は古佐井、大佐井、佐井村がそれぞれ二百町歩、穀百五十町歩、長後十一町歩、福浦と牛滝が十町歩、川目三十八町歩、原田三十町歩である。

その中で村長が契約者になつて、第二部分林は、あと四年で伐期になる。

現在の木材の価格はあまりにも安い。価格を上げる対策を考えているか。



伐期が迫る部分林

また、外材の輸入の停止、温帯地帯の伐採の禁止なども訴える。

近日中に県知事との行政連絡協議会があるので、知事に直接伝え、木材価格の上昇に努力する。

村長

木材価格は長期低迷しており、これを打開するには小さい自治体一つでは出来ないが、営林局、国、県に現状を訴える必要がある。

価格上昇に  
努力する

# 地滑り調査が必要

坂井議員

国道338号の災害現場  
規察の際、地滑りの状況が

広範囲との説明を受けた。

今、仮設道路で対応しても、将来的な安全性を考えた場合、地滑りの範囲を避けた新たなルートを模索し、早期復旧を要望すべきである。

工法を取りうることで、近日中にむづ県土整備事務所長が判断することになり、住民の不安を取り払うよう土木事務所に再度地滑りの調査をお願いする。

検討して  
いるようだ



決壊した国道338号

坂井議員

長後の住民の方々は、近くに地滑りがあるということで不安を持っている。

地滑りが長後の神社裏手も過去に地滑りの調査をしているが、二年前の話では抜き作業と地滑りの測量を過去に実施した。

環境建設課長

過去に地滑りの調査をしているが、二年前の話では抜き作業と地滑りの測量を過去に実施した。

過去に実施

環境建設課長

過去に地滑りの調査をしているが、二年前の話では抜き作業と地滑りの測量を過去に実施した。

村長

再調査をお願いする

詳しい  
調査を

## 中道温泉ボーリング跡地

## 農地転用できなか

**島野議員**  
温泉ボーリングの契約の

**休耕田**  
なぜ復元か

**産業振興課長**  
委託料は境界の測量費、  
原材料費は化学肥料と、  
種子代、黒土購入費であ  
る。財産購入費は温泉用地  
と接続している三筆を購入  
するものである。

**村長**  
農地に復元しないと農地  
法違反の疑いがあると、再  
三にわたり農業委員会から  
る。

**村長**  
農地法違反  
疑い指摘された  
農地法違反

**助役**  
ボーリング後の復元は、  
契約上なかつたと記憶して  
いる。

**村長**  
百六十三万円の経費は大  
きい金額だが、法的な部分  
をクリアするため最小限度  
で納めたい。

**職員の配置**  
適正に行う  
調査・検討する

**島野議員**  
休耕田を復元するため百  
六十三万円の費用を投する  
ことは、財政の厳しい状況  
の中、大変である。

**村長**  
診療所の事務的な部分  
は、委託より村内に医療事  
務の資格を持った専門の方  
もいるので、臨時でとい  
う案もある。

**田中正行議員**  
赤字解消  
期待された温泉ボーリングだったが…



指摘を受けており、農地法  
違反にならない程度に復元  
すべきと考えている。  
土地取得は地権者の考え方  
を聞き、できれば村で買つ  
てくればということだっ  
たので、復元費に四百万円  
要するより、土地購入した  
方が安いという判断であ  
る。

数年前から窓口業務を民  
間に委託したいという話も  
あつたが、窓口のみならず  
事務職員の削減を考えたら  
どうか。

**赤字解消**

## 特別委員会

# 行政業務の効率化

新しい情報の提供も必要



IT講習会

各課に一台  
ネットの接続を

### 川岸委員

アクセスする人は観光だけでなく、村の様々な情報を必要としていると思う。

また、ラブリーな販売事業もホームページで情報を提供し、会員の獲得が必要である。

今はインターネット時代で、既に県ともメールで仕事のやり取りをしてい

る。せめて各課に一台、ネットを接続する必要がある。

今はインターネット時代で、既に県ともメールで仕事のやり取りをしてい

る。せめて各課に一台、ネットを接続する必要がある。

川岸委員

佐井村公式ホームページが開設されている。

内容などを店内で検討されたと推測されるが、その経緯を説明してほしい。

り、店内からいろいろな意見をいたたき、行政的色合いを薄め、観光などのPRに重点を置いた内容にして

いる。

ホームページを開設して

半年を経過したが、現在アクセス件数が二千五百件になっている。

検討してみたい。

観光に重点  
村をPR

総務課長

ホームページ作成にあた

検討してみたい

### 総務課長

佐井村公式ホームページが開設されている。

内容などを店内で検討されたと推測されるが、その経緯を説明してほしい。

り、店内からいろいろな意見をいたたき、行政的色合

いを薄め、観光などのPRに

重点を置いた内容にして

いる。

ホームページを開設して

半年を経過したが、現在アク

セス件数が二千五百件にな

っている。

検討してみたい。

報告する  
義務がある

福田委員

今年のヤリイカの水揚の

追跡調査  
していない

### 産業振興課長

ヤリイカ産卵礁の追跡調査はしていないが、必要な

ので検討課題とした。

県に対応  
お願いする

### 産業振興課長

ヤリイカ産卵礁は県営事業なので、県に連絡し対応をお願いする。

## ヤリイカ産卵礁

# 追跡調査し報告すべき



クロソイ稚魚放流式

防災無線

## 難聴地域の解消必要

坂井委員

防災無線の難聴地域の解消には相当の財源を要すると言っているが、災害時の際、不測の事態に備えないためにも保守点検は必要であり、難聴地域の解消が必要である。

が、財政的に厳しい状況である。

業者に相談し、改善策がないか協議したい。

全世帯に配備しないのか

坂井委員

管内で個別受信機が配備されていない家庭が四十戸あると説明を受けた。今後も配備しないのか。

検討する

総務課長

世帯名簿と個別受信機を配置した世帯をチェックし、必要な世帯があれば対応を検討する。

配備された個別受信機

資料の提出  
求める

産業振興課長

昨年の十二月議会で、漁業振興対策の質問に対しても、海中造林の成果が上げられていると答弁しているが、その後、漁協から報告があつたのか。

組合長からは、それなりの成果はあると伺っている。海中造林の成果の資料の提出を求める。

投石の確保  
できないか

福田委員

重要な施策であると同時に、海中造林の成果が上がっていると答弁しているが、その後、漁協から報告があつたのか。

八月二十一日に知事が来村した際に、投石して老人、女性の収入増加からも石の確保が必要だと要望したところ、同席していたむつ整備事務所長にすぐ対応するよう命じているので期待している。

要望している

村長

## 礎づくりは重要施策



工事で出た石で礎づくりを

# 除雪体制どうなる？



住民生活に支障のない除雪体制を

後藤委員

今冬の除雪体制は、長後、川内等の牛込まで担当していた業者が担当できなくなつた。

県ではまだ委託を発注していないようだが、牛込地区の方が病院やむつ方面に出向く際、支障のない体制づくりを考えるべきである。

申し入れしたい

環境建設課長

今までどおりの除雪体制を取つていただくよう、県土整備事務所に申し入れしたい。

**島野委員**  
介護保険料は、来年三月以降も見直される報道があり、国保税同様の滞納が懸念される。

介護保険料は目的税であり、みんなが介護の世話になることを説明し、徵収にあたつてほしい。

介護保険料

滞納が心配

けて計算中だが、現段階では保険料はそのまま対応できると考えている。

現在、特養施設が議論され、佐井村の入所人數を二十名で設定して計算しているが、現在の保険料で対応できる見込みである。

保険料は  
そのまま

費用弁償  
**見直し必要**

川畠委員

健康福祉課長  
介護保険料は三年後に向

環境建設課長

長後地区の下水道の供用開始が十月一日である。

長後地区は、まだ説明会を開催していないのでこれからになる。

島野委員

加入率  
これから

長後地区公共下水道

**加入率の見通しは**

見直し  
考えていない

助役  
当面、見直す考えはない

報酬を支給されない委員には費用弁償が三千円支給されるが、報酬を受けている委員は、費用弁償が千円である。

報酬には金額に差がある。報酬を見直す考えはない。

説明会の中で融資の斡旋などをを行い、アンケート調査で、大よその目処が立つものと思つている。

## 公共工事

# 地元企業の活用を



宮川議員

宮川議員



後場前の下水道工事

先般、入札した公共下水道は、地元の業者が2区間落札している。1区間は大間の業者が落札しているが、地元のB級業者の下請けが決っているようである。

別に、C級業者の2業者の下請けが決っていると聞いている。

**選定規程で指名している**

特に、公共下水道工事は継続事業として注目されており、地元業者も十分施行能力を有している。村内業者に対する、指名はできないか。

特に、公共下水道工事は継続事業として注目されており、地元業者も十分施行能力を有している。村内業者に対する、指名はできないか。

特に、公共下水道工事は継続事業として注目されており、地元業者も十分施行能力を有している。村内業者に対する、指名はできないか。

**配慮している**

入札方法は十分承知しているが、地元企業の活性化を図るため、指名業者を拡大し、実績を付けさせることも重要である。

入札方法は十分承知しているが、地元企業の活性化を図るため、指名業者を拡大し、実績を付けさせることも重要である。

**地元業者に実績を**

関連業務の指名業者選定規程では、指名業者を選定するにあたり、参加資格に関する規則により請負工事の設計額に応じ、等級名簿登載業者の中から選定することになっている。

**各地区で説明会を開催**

災害の応急対策として、救急車は長後、福浦地区は災害現場で中継することにしている。

**対応遅れ申し訳ない**

お盆を控えていたし、知事が十五日に災害現場に来る準備などもあった。

市議を十八日に開き決定



仮復旧し片側通行が可能となったが

**対応遅すぎた**

**対応遅すぎた**

**防災訓練実施すべき**

したため対応が遅れたことは申し訳ないと思つている。

**災害発生**

**早急な対策講ずるべき**



佐井診療所

**竹内議員**  
国保の値上がりは、村民の反響がかなり大きい。国保の加入者は農業や漁業の従事者、小規模な個人事業者で、高額の増税は大変な負担となっている。

昨年は基金からの措置で対応したようだが、景気が上向くまで一般財源や他からの財源で補てんはできないか。

**村長**

平成十四年度の国保は既に賦課し、徴収されており、村の財政事情からも補てんすることはできない。

賦課徴収は、納入しやすいように分割相談にも応じ、徴収方法も今後、検討する。

補てん  
できない

## 国保増税 大きな負担



竹内議員

**竹内議員**  
漁業の不

**竹内議員**  
新幹線八

戸駅開業が

十二月一日

に迫り、下北

半島の観光

の売り出し

も、またとな

いチャンス

である。

この期に

村の魅力や

物産をどの

ように出そ

うとし

ているのか。

また、キヤ

ンペーンや

イベントは

企画して

いるか。

下北一円で

対応する

## 観光PR 積極的な展開を



東京～八戸間を1日15往復する「はやて」

**県道川内・佐井線**

晩年通行できないか

**竹内議員**

決壊して

いる国道3

38号は、九

月中に仮設

道路が完成

し、片側通行

が可能とな

るが、冬季間

は相当注意

を要すると

思う。

現在、佐井川内線を迂回路とし

て利用しているが、生活道路であり下北一周観光道

で、重要な幹線である。

通常通行できるよう要望すべきである。

**重要課題と  
認識している**

**村長**

県道川内・佐井線は急勾配、急カーブの難所を数箇所抱え、安全面を最大限考慮し、十二月から翌年四月まで冬期閉鎖路線となつて

いる。

今回の災害を踏まえ、村民の冬季間の民生安全上、重要な課題と認識し、通行の可能性、調査に向けた手

段方法など県に要望する。

**村長**

不況対策として特に建設業者への雇用促進、県出先機関への公共事業の早期発注、観光事業と漁業対策として築い、投石の要望を知事に行っている。

また、林業振興対策も進めている。

下北観光協議会では二月三十一日から三月三十一日まで三ヶ月間「ぐるつと下北号」を定期観光バスを走らせ、当村にも毎日十一時

頃観光客が入ってくる。

東北新幹線八戸駅の開業を好機と捉え、当村だけでなく下北一円の問題として関係者一同、対応にあたる。

今回の災害を踏まえ、村民の冬季間の民生安全上、重要な課題と認識し、通行の可能性、調査に向けた手段方法など県に要望する。

# 魅力ある観光の目玉を



山口議員



観光の拠点アルサス

道の駅で  
誘客を  
把握して  
いない

山口議員  
産業振興課長  
その当時の  
状況は、把握し  
ていない。

村長  
厳しい財政のもと、公共  
施設の維持補修は計画的に  
実施しているが、アルサス  
前の通路は歩行者の事故が  
懸念されるので、早い機会  
に補修したい。

村長  
当村では、操作できる人  
をあらかじめ特定し、入退  
室や操作記録を保存して府  
内から情報が漏洩しないよ  
う万全を期している。

総務課長  
地方公務員法で守秘義務  
ということから、違反者は  
重罰則で対処する。

早い機会に  
対処したい

万全を  
期している

守秘義務で対応

山口委員  
観光の拠点であるアルサス  
山側通路の小砂利が取  
れ、手入れが行き届いてい  
ない。

早期改修を  
アルサス前通路

山口議員  
民基本台帳ネットワークが  
稼動している。  
村民のプライバシーは守  
られるのか。

職員の  
モラル対策は  
守秘義務で対応



役場：電算室

## プライバシー守れるか

山口議員

グルメ時代に合わせた食  
提供し、滞在型観光へ移  
行するためにも、高級食材  
であるウニ、アワビを協議  
組合では常にアワビの養  
殖を行っている。

山口議員  
観光客にウニ、ツブなど  
を自然の中で獲らせ、食べ  
させることにより良い思い  
出、良い体験にな  
る。

村長  
国道の駅マップに登載され、  
誘客効果はもとより地  
域の文化、歴史、名所、特  
産物などのサービスを提供  
でき、更に地域づくりの効  
果が期待される。

道の駅あるいは海の駅構  
想を視野に入れて考える。

山口議員  
国道の駅のメリットは、全  
て、村内に道の駅を作る考  
えはないか。

村長  
道の駅のメリットは、全  
て、村内に道の駅を作る考  
えはないか。



カレント

# 解決すつきりと

川畠議員

カレント(社)に対し、六月議会の答弁では、操業していない状態で誘致企業として認めるか協議すると言っている。その後どうなったのか。

川畠議員

返済金増額  
有り得るか

平成十年度に農林漁業振興事業資金貸付規程に則り七百万円を貸し付けたが、その後、十一年三月まで返済ができなかつたため、前

村長が月々一千万円の返済条件を決定し、現在に至つて

社長と専務と話し合つた結果、誘致企業としての位置付けを取り消す旨を申し渡している。

川畠議員

苦しい財政の中、村長が自指するいふづくりの予算規模の見通しを伺いたい。

川畠議員

赤十字グッズ開発も

村長

赤十字の里づくりを念頭に、人にやさしく人を思いやる心を大切にした行政の在り方とも合わせて検討したい。



カレント様

カレントは、前回の返済が終れば村に返済されないようだが、その返済が終ると同時に返済するということが、その増額は有り得るのか。

助役

連帯保証人には社長と専務がなつているが、個人と機関に返済しても話しあつたのか。

村長

予算規模は未定だが、十五年度の予算規模は地方交付税が落ち込むので、今年度より減額となる。

川畠議員

今年度の海峡ミュージアムは、仏ヶ浦製織りグループの皆さんの協力で開館することができた。

佐井村の歴史と文化、観光案内も兼ねて、村長はじめ役場職員、更には各種団体の協力を得られないか。

教育次長

川畠議員

個人としての話合いは、話し合いは

ボランティア

役場職員も

赤十字グッズ開発も

村長

誘致企業を取り消した

平成十年度に農林漁業振興事業資金貸付規程に則り七百万円を貸し付けたが、その後、十一年三月まで返済ができなかつたため、前

ま、カレントは県の保証協会から二千万円の融資を受けているが、金融機関

に返済されないようだが、その返済が終れば村に返済されないようだが、その返済が終ると同時に返済するということが、その増額は有り得るのか。

村長

イベントの開催は、現状課題を関係団体と十分協議し、実施方法を検討する。

川畠議員

来年一月から  
1万円増額

川畠議員

赤十字の里づくりを念頭に、人にやさしく人を思いやる心を大切にした行政の在り方とも合わせて検討したい。

川畠議員

赤十字グッズ開発も

# 悔いの残らない道を

市町村合併研究会：竹内典和議員



市町村合併研修会

なぜ合併なのか？どうして合併する必要があるのか？意味を良く理解していないように思う。

現在の村の実情、今後の見通し、将来の構想、特に

たことは、合併問題を進めることで大きな分岐点になるであろう出発点を聞き違えている人が多い気がしてならない。

なぜ合併なのか？どうして合併する必要があるのか？意味を良く理解していない

ようだと思う。

去る七月十一日、青森市において市町村合併研究会を開催した。

質疑応答では県の担当者に対し各議員から様々な質問や意見が出された。

今回の研修を通して感じたことは、合併問題を進める上で大きな分岐点になる

財政面で村が存続できるのか、できないのか？どうすれば良いのかという基本的

なことから議論し、村の方

向を決めて行くべきであり、その選択肢の一つが合併だと思う。

いつのまにか合併が先に歩き出し、終始その説明に追われている感じがしてならない。

更に、合併そのものも

国、県の主導ではなく、あくまでも地域住民の判断で自らの責任において選択していくべきものであり、そ

ののために早い機会に住民との意見交換をし、討論、議論し、進むべき方向を探っていくべきである。

住民と行政が一緒にになって考え、村の将来に悔いの残らない道を選択していく必要がある。

任意の研究会は村民を巻き込んで大きな輪にし、多くの意見を参考に活性化していくべきと思う。

さるに高齢者や身体障害者などにも利用しやすいようエレベーターが設置されるなど、随所にバリアフ

リーアが活かされている。駅の出入りが目の前で見える

うエレベーターが設置されるなど、近代的な設備となつてゐる。

さらに新幹線によって東京ビルの建設設計画などについて説明を受けた。

新幹線開業によつて東京



着々と工事が進む新八戸駅

新八戸駅視察研修・田中岩男議員

# 波及効果に期待



六ヶ所原資燃料サイクル施設

# 原子力発電所は必要不可欠

六ヶ所原資燃料サイクル施設視察研修・島野満義議員

去る七月十二日、  
大間原子力発電所  
の建設を前に、当

発電所が使用する  
MOX燃料を製造  
する六ヶ所原資燃  
料サイクル施設を  
視察研修した。

## ①再処理工場

原子力発電所で  
燃やした使用済み  
燃料の中から燃え  
残ったウランと新  
しくできたプルト  
ニウムを取り出し、  
再び新しい燃料と  
して使えるように  
する施設。

建設費は2兆1  
400億円で、平成  
五年に工事が始め  
られ、操業開始は平  
成十七年の予定。

## ②ウラン濃縮工 場

燃えるウラン2  
35の濃度を高め  
る施設で、平成四年  
年々増加している。

から操業を開始している。

## ③高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

原子力発電所で使い終えた燃料の再処理に反響負担する放射能レベルの高い廃棄物（廃液）を、安定なガラスとともに固化し、一時貯蔵する施設。

将来的には3千数百本の貯蔵を計画している。

## ④低レベル放射性廃棄物埋蔵センター

原子力発電所の運転や点検などにより発生する放射性レベルの低い廃棄物を、濃縮または圧縮等してドラム缶に投入・固化し、埋設する施設で平成四年から埋設を行っている。

以上が六ヶ所原資燃料サイクル施設の概要である

が、日本原燃ではMOX燃料工場の基本設計等事業の詳細な検討を進めている。

電力は石油をはじめとする様々なエネルギーからつくり出されており、中でも

原子力発電は暮らしを支える基盤として欠かせないものとなっており、東通村においては、東北電力が平成十七年運転開始に向け工事

が急ピッチで進められている。用地買収に一部未解決があるものの、港湾や国道付替道路等の準備工事が着々と進められている。エネルギー資源の少ない我が国においては、原子力発電所は必要不可欠であり、地域と共に生きる発電所を期待する。